

茅ヶ崎市空家等対策計画の施策の進捗状況について

① 各市町村空き家対策の実施状況について (資料2 資料3参照)

- ・空家等対策計画策定済み市町村数 (平成30年3月31日現在)

神奈川県 12市町村 (36.4%)

全国 774市町村 (44.5%)

- ・特定空家等に対する措置の実績 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	茅ヶ崎市	神奈川県	全国
助言・指導	8件	10件	4,271件
勧告	1件	1件	285件
命令	0件	0件	47件
代執行	0件	0件	12件
略式代執行	0件	0件	40件

- ・藤沢市

平成32年度中に空き家に関する協議会の設置、計画の策定をする予定。

- ・平塚市

平成30年3月に空き家に関する計画を策定し、平成30年9月に特定空家等の判定基準を設けている。

- ・寒川町

今年、空き家に関する実態調査を実施しており、平成32年に協議会の設置、計画の策定、特定空家等の判定基準を設ける予定。

- ・空家等対策の推進に関する特別措置法第14条に基づく執行状況

代執行に関しては、県内では横須賀市のみ実施 (平成27年)。

② 空き家活用等マッチング制度について

所有者		利活用	
相談	申請	相談	申請
4	2 *1件取り 下げ	10	2

空き家所有者と活用希望者2名を現場にて引き合わせを行った。空き家の状態、活用希望者の活動内容等では支障がなかったものの、家賃の面で折り合いがつかず、マッチングに至らなかった。

今後、さらに本制度を活用いただくためにも、市内で活動しているNPO団体等を支援している「ちがさき市民活動サポートセンター」と連携し、周知予定。

③ 「今住んでいる「わが家」の終活について、考えてみませんか？」の発行について (資料4参照)
 株式会社ホープと協定を結び、終活を通じて空き家の発生を予防することを目的としたチラシを作成。記載内容は、終活とはどういったものなのか、成年後見制度、相続登記、空き家の管理・活用(空き家活用等マッチング制度)・売却・解体、住まいの相談窓口の案内を載せており、生前のうちから自身が所有している土地や建物について考えていただくように意識啓発する内容。

④ 「住まいと終活セミナー」(案)の開催について (資料5参照)

⑤ 「10年後の松風台の住環境についてワークショップ」の実施について (資料6参照)

世帯数・人口について

町丁目	世帯数	人口				高齢化率
		合計	15歳未満	15~64歳	65歳以上	
松風台	614	1,539 (▲141)	145 (▲30)	644 (▲213)	750 (102)	48.73% (10.16%↑)

- ・昭和49(1974)年に「東急ニュータウン茅ヶ崎松風台」の分譲地。
- ・平成24(2012)年に住民協定を制定。まちづくり運営委員会により、住環境の維持に努めており、平成29(2017)年に国土交通省の「住まいのまちなみ賞」を受賞。
- ・まちづくり運営委員会の課題として、①住民協定による建築物の審査業務を効率化し、業務負担を減らすこと、②運営の継続性があげられている。
- ・570戸の内の60戸が75歳以上の単身世帯であることから、空き家になることが懸念される。
- ・空き家・空き地の調査を年2回実施しているが、ここ数年空き家は増えておらず、現状では問題とはなっていないが、高齢化率等から空き家が増加することが想定され、今後の課題になると思われる。
- ・空き家所有者を登記簿謄本等で把握しており、連絡先も把握していることから、必要に応じて植木の剪定等を依頼している。
- ・自治会館を建て直す際に、仮の自治会館を空き家を活用したことがある。不動産屋に貸家の登録しているということを口コミで知り、活用した。他にも3件ほど松風台内にそういった空き家がある。